# 指導と評価の年間計画（シラバス）

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 英語 | 総合英語 | 4 | 第１学年 | 桐原書店「PRO-VISION」<br>エミル出版 Focus on Listening |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・総合英語の授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力を統合的に学ぶ授業です。英語を読んだり聞いたり、その内容についての情報や考えを話したり書いたりする言語活動を行います。大学入試にも対応でき、且つ将来グローバルリーダーになるために必要な英語力をつけることを目標としています。授業では英語をたくさん使う活動がありますので、積極的に取り組みましょう！

2　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「総合英語」（４単位）及び「英語表現」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 |
| ①正確な発音・イントネーションで音読でき、話すときにも意識することができる。<br>②簡単なトピックに関して、その場で１分程度具体的な理由を添えてスピーチができる。<br>③複雑なトピックに関して、準備したメモを見ながらスピーチできる。<br>④他者の意見を聞き、自分の意見を表明し、会話を進めることができる。 | 総合英語<br>プレゼンテーション、インタビューテスト、スピーチ<br><br>英語表現<br>スピーチ等 | ①与えられたトピックに関して、少しの時間の準備でまとまりのある文章を書くことができる。<br><br>②複数の段落で、序論・本論・結論を意識して、論理的な文章を書くことができる。 | 総合英語<br>エッセイや定期考査等<br><br>英語表現<br>小テストや定期考査等 | ①スピーチや会話（3 分程度）を聞いて、ポイントをつかみながら内容を理解することができる。<br><br>②自然な速さで話される英語の音を聞き取ることができる。（ディクテーションできる） | 総合英語<br>リスニングテストや定期考査等 | ①まとまりのある英文を後戻りすることなく、一定時間内に読み、各段落のトピック・サポート・例示・詳細などを抑えながら全体の趣旨を理解することができる。<br><br>②構文を理解しながら日本語に訳すことができる。 | 総合英語<br>小テストや定期考査等 |

3　学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 英語表現の能力 | 英語理解の能力 | 言語や文化についての知識理解 |
|---|---|---|---|---|
| 実施方法 | コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## 4 学習の活動

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Provision<br>Lesson 1-3<br>( 18 時間)<br><br>Focus on Listening<br>T1～7 | 1. 山中伸弥博士の半生と、夢を追い求めるための座右の銘を学び、自分の将来を考える。<br><br>2. お弁当文化を通じ、日本の伝統文化の可能性や他国の文化に対する考え方を深める。<br><br>3. より良い社会実現のために主体的に社会にかかわることの重要性を学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・ペアワークなどの活動に積極的に取り組む。 | ・文章の内容理解や、それに基づいたスピーチなどの理解の過程でも表現の過程でもペア活動を行う。 | ・ペアで協力し互いに補い合いながら、内容を理解し、話そうとしている。 | ・ペアでの活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「英語表現の能力」 | | | |
| | | ・各単元の文章を読み、その内容を要約する。<br>・読んだことに基づき、スピーチを行ったり、紹介文を作ったりする。 | ・各セクション・単元の内容を要約する。<br>・ペアでスピーチを行い、人物や文化など興味のあるものを紹介する文を作る。 | ・単元の内容について、要点を押さえながら書くことができる。<br>・文の繋がりや構成に注意して発表できる。 | ・定期考査で要約に関連する問題を出題する。<br>・授業内での活動やスピーチテストなどを行い評価する。<br>・課題を提出させ判断材料とする。 |
| | | 「英語理解の能力」 | | | |
| | | ・読んだり聞いたりした内容を理解する。 | ・T/F や Q&A、要約などを通じて理解する。 | ・教科書や教師からの問いに答えることができる。 | ・定期考査で内容理解を問う問題を出題する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・時制及び助動詞の使い方を理解する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・時制及び助動詞の使い方を理解している。 | ・定期考査で知識の理解を問う問題を出題する。 |
| Provision<br><br>Lesson 4-8<br>(24 時間)<br><br>Focus on Listening<br>T8～14 | 4. ビーバーを通じて生態系について学習し、環境保全を考える。<br><br>5. チョコレートの文化や歴史を学習し、多様な物の見方を学ぶ。<br><br>6. ベネズエラの音楽教育システムを通じ、社会全体が負う課題と個人が果たすべき責任について考える。<br><br>7. 植物のコミュニケーションについて学び、自然の驚異・生命の尊さ・環境の保全の重要性を考える。<br><br>8. マララ・ユスフザイ氏の演説から、社会全体が負う課題と個人が果たすべき責任について考える。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・ペアやグループでの活動に積極的に取り組む。<br>・文章の内容に対する自分の意見を持つ。 | ・内容の理解・表現の過程でペアやグループ活動を行う。<br>・ペアやグループで自分の考えを発表する。 | ・ペアやグループで協力し互いに補い合いながら、内容を理解し、話そうとしている。<br>・自分の意見を持ち、それを相手に伝えようとしている。 | ・ペアやグループでの活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「英語表現の能力」 | | | |
| | | ・各単元の文章を読み、内容を要約する。<br>・読んだことに基づき、スピーチやインタビューを行い、調べた内容を発表する。<br>・読んだ内容に関して自分の意見を書く。 | ・各セクション・単元の内容を要約する。<br>・ペアでスピーチやインタビューを行ったり、調べたことについて、ポスター等を使って発表したりする。<br>・与えられてテーマについて自分の意見を書く。 | ・単元の内容について、要点を押さえながら、構成に注意して書くことができる。<br>・文の繋がりや構成に注意し、リズムやイントネーションも考えながら発表できる。<br>・自分の意見を形式に沿って書くことができる。 | ・定期考査で要約に関連する問題を出題する。<br>・授業内での活動や発表などを通じて評価する。<br>・エッセイを提出させ評価する。 |
| | | 「英語理解の能力」 | | | |
| | | ・読んだり聞いたりした内容を理解する。 | ・T/F や Q&A、要約などを通じて理解する。 | ・教科書や教師からの問いに答えることができる。 | ・定期考査で内容理解を問う問題を出題する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・態、不定詞、動名詞、分詞構文、関係詞などの使い方を理解する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・態、不定詞、動名詞、分詞構文、関係詞などの使い方を理解している。 | ・定期考査で知識の理解を問う問題を出題する。 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Provision<br><br>Lesson 9-10<br>( 13 時間)<br><br>Focus on Listening<br>T15～20 | 9. 雪の結晶が生成されるメカニズムに興味・関心を喚起し、真理を求める態度を養う。<br><br>10. 有史以前の人類の生活に興味・関心を喚起し、真理を求める態度を養う。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・ペアやグループでの活動に積極的に取り組む。<br>・文章の内容に対する自分の意見を持つ。<br>・興味を持った内容について調べ発表する。<br>・他の生徒の意見から異なる考え方を学ぶ。 | ・内容の理解・表現の過程でペアやグループ活動を行う。<br>・ペアやグループで自分の考えを発表する。<br>・興味関心のあるテーマについて調べ発表する。 | ・ペアやグループで協力し互いに補い合いながら、内容を理解したり、話そうとしている。<br>・自分の意見を持ち、それを相手に伝えようとすると同時に、質問をして会話を継続しようとする。<br>・調べた内容を発表できる。 | ・ペアやグループでの活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>・調べ学習や発表の様子を観察する。 |
| | | 「英語表現の能力」 | | | |
| | | ・各単元の文章を読み、その内容を要約する。<br>・読んだことに基づき、ディスカッションや発表を行う。<br>・読んだ内容について自分の意見を書く。 | ・各セクション・単元の内容を要約する。<br>・ペアやグループで話し合いを行ったり、プレゼンテーションを行ったりする。<br>・テーマに沿った意見を書く。 | ・単元の内容について、要点を押さえながら、文法の正確性を意識して、構成に注意して書くことができる。<br>・文の繋がりや構成に注意し、リズムやイントネーション、身振りや姿勢なども考えながら発表できる。<br>・自分の意見を論理的に書くことができる。 | ・定期考査で要約に関連する問題を出題する。<br>・授業内での活動や発表などを通じて評価する。<br>・エッセイを提出させ評価する。 |
| | | 「英語理解の能力」 | | | |
| | | ・読んだり聞いたりした内容を理解する。 | ・T/F や Q&A、要約などを通じて理解する。 | ・教科書や教師からの問いに答えることができる。 | ・定期考査で内容理解を問う問題を出題する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・関係詞・比較・仮定法の使い方を理解する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・関係詞・比較・仮定法の使い方を理解している。 | ・定期考査で知識の理解を問う問題を出題する。 |